

*** 東京天文台 100 周年記念誌作成時の資料ーその 3-9-2ー (91 cm 光電赤道儀仮組写真発見)**

アーカイブ新聞第 793 号 (2015 年 4 月 30 日) から「東京天文台 100 周年記念誌作成時の資料ーその 3ー」について、その具体的資料について記事を書いている。今回はアーカイブ新聞第 795 号 (2015 年 5 月 7 日) に続いて「その 3」の 9 項目の中の⑤日本光学工場の 91cm 望遠鏡 (岡山) についてである。これは 91 cm 光電赤道儀と呼ばれた望遠鏡を日本光学の工場で作成している写真 9 葉である。

まず、仮組完成の写真で日本光学の望遠鏡のカタログにも用いられたモデルが傍らに立つ写真 1、ほぼ完成時の写真 2 である。



写真 1 モデルが傍らに

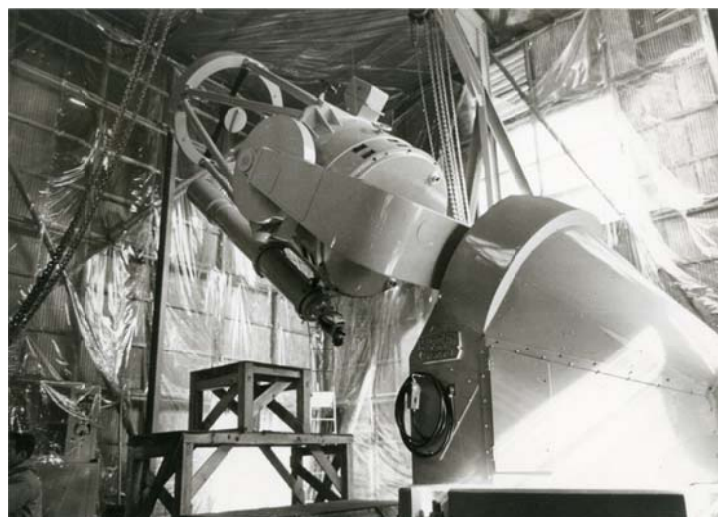


写真 2 仮組完成

順次遡って掲載する。案内望遠鏡取付 (写真 3)、セルリエトラス取付 (写真 4)。



写真 3 案内望遠鏡の取り付け



写真 4 セルリエトラスの取り付け

写真 4 の裏にかかれたキャプションには、「中央鏡筒部に副鏡取付用 8 本柱の取り付け」とある。次に遡るとフォークにセンターセクションの取り付け(写真 5)、さらに遡り赤経軸にフォークの取り付け (写真 6) である。



写真 5 フォークに中央鏡筒部の取り付け 写真 6 赤経軸にフォークの取り付け

これらも写真の裏の説明書きは、写真 5 には「フォークアームに中央鏡筒部の取り付け」、写真 6 には「赤経軸にフォークアームの取り付け」とある。

次に遡ると、架台部に赤経軸の組み込み写真 7 である。



写真 7 架台部に赤経軸の組み込み

次は遡ることとは時系列に関係なく、赤経軸回転の早回し駆動歯車系の写真 8、赤経軸回転の時計及び微粗動駆動歯車系(写真 9)である。これら駆動部はすでに最新式のサーボ式駆動装置に改良され、このような複雑な歯車機構は取り払われている。その意味でも貴重な写真と言える。ここに残っていた 9 葉の写真では工場における仮組の様子を伝えるには不十分であるが、天文台にこれだけでも残っていたことよしとしよう。

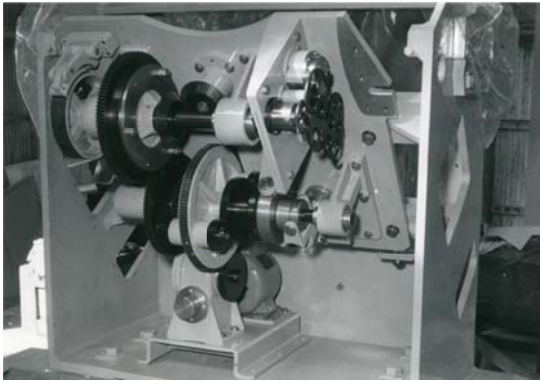


写真 8 赤経軸早回し駆動部

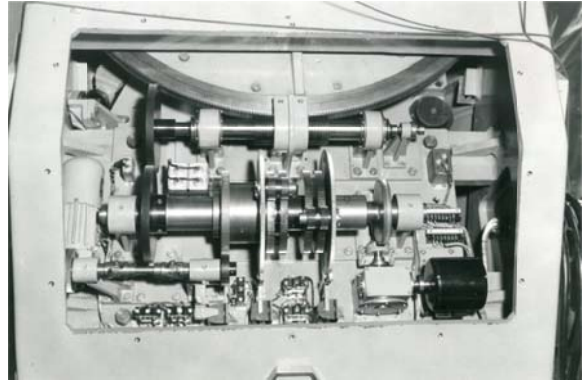


写真 9 赤経軸追尾微粗動駆動部

これらの日本光学における仮組の様子を伝える写真を筆者は目にすることがなかった。これらを記録にとどめ、デジタルデータとして残す意義は大きいと考える。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp